

大学院総合国際学研究科

博士前期課程・博士後期課程

アジア・アフリカ
言語文化研究センター

附属図書館

教務課

学生課

留学生課

保健管理センター

グローバル・
キャリア・センター

博士後期課程

国際日本専攻

世界言語社会専攻

共同サステナビリティ
研究専攻

博士前期課程

国際日本専攻

世界言語社会専攻

学部

国際日本学部

言語文化学部

国際社会学部

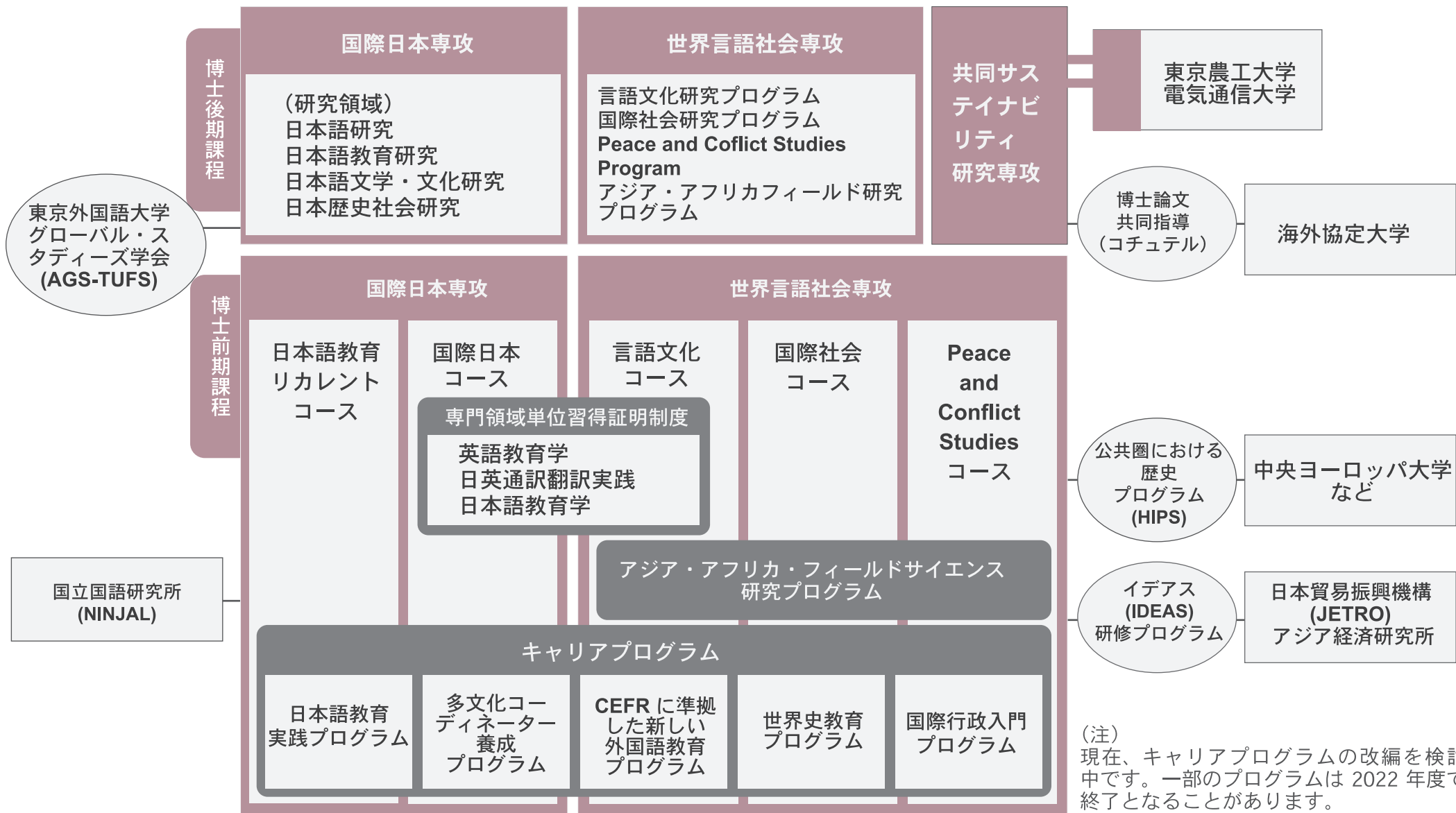
東京農工大学
電気通信大学

国内協定大学

海外協定大学

連携研究機関

大学院総合国際学研究科の 教育プログラム



(注) 現在、キャリアプログラムの改編を検討中です。一部のプログラムは 2022 年度で終了となる場合があります。

2022 年度 アジア・アフリカ フィールドサイエンス プログラム要項

アジア・アフリカフィールドサイエンス(AAFS)プログラムとは：

世界言語社会専攻の3つのコースを超えたアドオン・プログラムとして、本学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA研）教員によって提供されるものです。

AAFIS プログラムの特徴：

「フィールドサイエンス」とは、臨地調査(フィールドワーク)を理論的・実践的に高度化した研究手法です。AAFIS プログラムでは、このフィールドサイエンス的手法に重点を置いた研究を軸にアジア・アフリカの諸地域に焦点を当てた言語学、人類学・民族学、歴史学、地域研究の研究者の養成に力を入れています。

プログラムへの参加・修了：

プログラムに参加するためには特別な登録手続きはありません。AAFIS プログラムで提供される以下の授業の中から、2年間に10単位以上取得した学生を、プログラム修了者とします。履修する授業の組み合わせは自由ですが、同じ教員が担当する授業は繰り返し履修してもプログラム修了要件の10単位には1回（2単位）分しか含めることができません。

- アジア・アフリカフィールドサイエンス基礎（言語文化/国際社会共通）
- アジア・アフリカフィールドサイエンス実践研究（言語文化/国際社会共通）
- アジア・アフリカフィールドサイエンス言語研究（言語文化）
- アジア・アフリカフィールドサイエンス地域研究（国際社会）

☆質問などは、担当の飯塚正人まで：masato@aa.tufs.ac.jp

大学院オリエンテーション 2022年4月5日(火)

東京外国語大学大学院
博士前期課程
ダブルディグリープログラム
「公共圏における歴史」
History in the Public Sphere

hps

リスボン「地理上の発見の像」➡



HIPSで探究する4つのテーマ

1. 記憶の制度化と歴史の政治化

- 過去の記憶が集合的記憶として制度化されるメカニズム、紛争化する記憶と歴史のもつダイナミズムを理解する。

2. 歴史の視覚的表象とメディア化

- 現代社会では、歴史像は表象とメディアを媒介として生産され、集合的記憶に大きな影響を与える。実習を通してメディア化を通じた歴史の生成の機制を学ぶ。

3. 包摂と排除の歴史

- 歴史と集合的記憶は、現実社会における包摂と排除をもたらしてきた。「公共圏における歴史」が紛争の危険水域に達しないための方法を考える。

4. ネイション・地域・グローバル史の交錯

- 地域・国家・文明圏を超えて、上述の3つのテーマを横断的に比較研究するための方法論を習得する。

ダブルディグリーとは？

	通常	ダブルディグリー (HIPSプログラム)
東京外国語大学	2年→修士 入学金・授業料	2年半 修士 & MA 外大分の入学金・授業料のみ
中央ヨーロッパ大学	2年→MA 入学金・授業料	

- 通常、2つの大学で修士号を得るためには、2校に授業料を納め、4年間の就学と、4年分の授業料、2つの修士論文の執筆が必要です。
- ダブルディグリーでは、1校分(ただし2年半相当)の授業料、2年半の就学、1つの修士論文(英語)の執筆で、2つの修士号を得ることができます。

なぜ可能になるの？

1. 単位の振替

本学とEU側大学で類似の授業が開講されている場合、一方で取得した単位を相手側の単位に振り替えることができる(15単位まで)。

2. 1つの修士論文(英語)

修士論文は英語で1本執筆し、双方の大学が合同で審査を行う。

3. 参加者のみなさんの努力！を支えるサポート体制

勉強に集中してもらえるように、経済面、事務手続きなどをサポート

- EU側の授業料を免除、留学奨学金に優先枠
- 寮の手配、滞在許可申請などを代行



滞在先の大学



中央ヨーロッパ大学(ブダペシュト／ウィーン)
1991年創設、ハンガリー、オーストリア、米国による認可
英語で教育を行い、世界中から学生が集まる大学院大学



新リスボン大学
1977年設立の社会科学人文学研究科(学際的研究)
デジタル・ヒューマニティーズにも強い



フィレンツェ大学
中世からの歴史(ボッカッチョ、フェルミ・・・)
「歴史・考古・地理・芸術・演劇学部」芸術、文化遺産研究が特徴



フランス国立東洋言語文化大学(パリ)
1699年設立 非西欧圏100か国の言語・文化・社会
帝国主義との関係から、植民地研究、ポストコロニアリズム研究もさかん

2年半の流れ



HIPSプログラム開始

9月下旬 (EU側で選抜された学生とCEUで合流)

世界中から集まる学生たち



本プログラムはEUのErasmus Mundusの支援を受けています。Mundusは世界を表すラテン語で、EU側での選抜には、EU圏出身者のみならず、世界中から意欲と能力の高い学生が集まってきます。

同時に、本プログラムは、文部科学省・大学の世界展開力強化事業(日-EU戦略的高等教育支援)の支援を受けています。

2020年度(第1期生) EUから10名 TUFsから1名
2021年度(第2期生) EUから10名 TUFsから3名

参加の条件は？

- 東京外国語大学・博士前期課程 8名
- 「公共圏における歴史」およびプログラムへの関心
- 英語の語学力、運用能力
基準：TOEFL iBT 88点、IELTSアカデミック 6.5点、
PTEアカデミック 59点、
ケンブリッジ英検 C2 (C評価)、C1 (B評価) 以上
有効期限2年

プログラムにかかる費用

1. **授業料**は本学授業料のみ（EU側の学費は不要）
2. 留学先での**生活費**（寮、食費、本代など）
→ JASSOの**留学奨学金【協定派遣型】**を優先的に受給可
 - ① 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者（特別永住者を含む）
 - ② 前年度の成績評価係数が2.30以上（S,A=3、B=2、C=1、D=0として計算）
 - ③ 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者として認められる者
3. **渡航費**（2往復分）
→ 一定の家計基準を満たす場合は渡航支援金（32万円・1回限り）の申請も可能（家計基準は厳しめ・・・）

JASSO奨学金(協定派遣型)の支給金額例

滞在都市・国	ハンガリー	オーストリア	ポルトガル	イタリア	パリ
月額	7万円	8万円	8万円	8万円	10万円

支給金額例・・・ 1年目:7万円
2年目:8万円

どんな準備をすればよい？

- 英語の授業に慣れる
- 記憶や歴史認識にかかわる本をあらかじめ読んでおく
(英語／日本語)
 - 議論の全体像を把握する
 - 英語のテクニカルタームを把握しておく

もっと知りたい方は・・・

4月7日(木)12:00～

大学院生向け説明会

詳細は👉 <http://www.tufs.ac.jp/hips/>



または、HIPSプログラム事務局までメールで！

tenkai-hips-coordinator@tufs.ac.jp

JETROアジア経済研究所 開発スクール (IDEAS) 研修プログラム

武内進一

(現代アフリカ地域研究センター)

shinichi_takeuchi@tufs.ac.jp

どんなプログラム？

- ▶ 発展途上国研究機関が、途上国若手官僚向けに行う研修プログラムです。
 - ▶ アジア、アフリカの15か国以上から若手官僚が参加します
 - ▶ すべて英語で行います
- ▶ 東京外国語大学の院生は、その研修に参加することで単位を得ることができます。（6単位か4単位の選択）
 - ▶ 国際関係研究1～3（「IDEAS国際開発論講義」(1)～(3)）を受講します。
 - ▶ 秋学期に原則オンラインで授業を受けます（これまでの実績は、30～45コマ）。
- ▶ 研修の内容は、国際開発に関わります。
 - ▶ 国際開発（貿易・投資、社会開発、SDGsなど）
 - ▶ 海外開発専門家による集中講義
 - ▶ ゼミナール（修了論文執筆）

JETROアジア経済研究所とは？

- ▶ 発展途上国に関する研究機関
 - ▶ JETRO（日本貿易振興機構）の付置研究機関
- ▶ アジア、アフリカ、中東、ラテンアメリカ、開発経済学の研究者約100名が所属
- ▶ IDEAS事業は、1990年から継続
- ▶ 2018年度から東外大に開放



図書館

こんな人に受講を勧めます

- ▶ 国際開発に関心がある人
 - ▶ 第一線の研究者による講義です
 - ▶ 基礎から学べます
- ▶ 実務家を目指す人
 - ▶ アジア、アフリカの若手官僚とのネットワークができます
- ▶ 英語は心配しないで
- ▶ 日本経済新聞が読めれば、何とかできます。あとは本人の意欲
- ▶ 外大生が書いた修了論文
 - ▶ ウガンダの難民政策
 - ▶ モロッコの反テロ政策
 - ▶ 中国のEコマース
 - ▶ 東チモールの開発と文化
 - ▶ アンゴラの持続的経済開発
 - ▶ タシケント市の都市開発
 - ▶ ウガンダの開発政策
 - ▶ 中国の対ナイジェリア援助
 - ▶ ムバラク政権の崩壊
 - ▶ 中東・北アフリカへの日本の援助

注意点

- ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響等により、内容に変更の可能性があります。
 - ▶ 詳しくは、春学期中の説明会で説明します（5～6月を予定）
- ▶ 受講者は原則3名まで。
 - ▶ 受講希望者は、必ず説明会にご出席ください。
- ▶ 秋学期にオンライン・オンデマンド形式で開催されます。
- ▶ 受講料（2021年度実績：9万7千円／6万4千円。一部大学補助あり）は受講生の負担となります。

- ▶ 関心がある人は、武内まで
 - ▶ shinichi_takeuchi@tufs.ac.jp

NINJAL ユニット

国際日本学研究院に置かれた研究組織（ユニット）

NINJAL：国立国語研究所（National Institute for Japanese Language and Linguistics）

* 世界の日本語研究を主導する

* 東京外国語大学の「日本」に関する研究・教育を高度化

Japan Studies

「Japan Studies」 (国際日本専攻 専攻科目)

コーパス開発／方言研究／対照言語学／
日本語の歴史的変化の研究 など

- ・ 国際日本専攻以外の学生も履修可能
 - * 修得単位については履修案内を確認のこと
 - * 詳細については、授業時間割・シラバスを

大学院学生 への支援

2022年4月5日

東京外国語大学
大学院総合国際学研究科

主な大学院学生支援

1. 大学院学生研究室
2. コピーカード
3. ILLの一部経費負担
4. TUFSサマースクール

1.大学院学生研究室

場所： 研究講義棟 4F 401室

利用時間： 08時～20時

※ 最新情報はHP上の開室カレンダーを確認すること。



① 自習スペース (401-A・50席)



②インターネットアクセス・ スペース（401-D・54席）



③ラウンジ（交流スペース）



附属研究所 Instituts

- 語学研究所
- 総合文化研究所
- 国際関係研究所
- 海外事情研究所
- 現代アフリカ研究センター

2. コピーカード

- 401室にある2台の複合機用
- 資料のコピーや（401室設置の）PCからのプリントに使用可能
- カードは401室にいる事務補佐員が配付

※平日の午前中は302室の秘書が配付



3. ILL一部経費負担

□ ILL (Inter Library Loan)

図書館間で行なわれる図書相互貸借制度

□ 本学大学院生については、返却にかかる費用を研究科で負担

- 一部の提携大学図書館では、コロナ禍のためILLを停止している場合があるので、附属図書館ホームページを確認すること。

4. TUFSSサマースクール

- 本学に所属する大学院生有志による、課外活動の一環です。皆さん**大学院生**が、**夏季限定**で**語学講師**となります。
- 大学院生に対して**教育研究の機会**を与えるとともに、その研究成果を社会に還元することを目的として、毎年夏期休暇を利用して、中学生、高校生から広く一般の方までを対象に**各専攻語の講座**を開設しています。



安心安全な 研究環境を

迷惑行為は、してはいけません
(大声で話す, 研究室内での電話など)

犯罪行為は、してはいけません
(暴力、つきまとい (ストーキング)、盗撮、
のぞき、窃盗など) **懲戒処分の対象**



これらの行為を見たり聞いたりした
ときは、学生相談室・学生課・指導
教員を通じて大学に連絡しましょう。



11:00～12:00

前期課程専攻別(コース別)

後期課程合同オリエンテーション

(1)前期課程 世界言語社会専攻

◎言語文化コース 全体説明 113講義室

(全体説明後)

英語教育学を専門とする学生 110講義室

日英通訳・翻訳を専門とする学生 111講義室

◎国際社会コース 114講義室

(2)前期課程 国際日本専攻

◎国際日本コース 108講義室

(3)後期課程(三専攻合同) 112講義室

TUFS修学支援制度（大学院）について



2022年4月5日

@研究講義棟 1階 101教室

TUFS修学支援制度とは

ご説明します



- 入学料免除制度と授業料免除制度
- 第一次募集と第二次募集の2種類
- 第一次募集、第二次募集、多文化共生イノベーション研究育成フェローシップ (MIRAI) 奨学生制度は併願することが可能【博士後期課程のみ】
※採用はいずれかの制度によります

第一次募集枠での支援内容

入試の成績上位者など、
成績によって選抜するため
申請不要

【博士前期課程】

入学料免除：

特別選抜（推薦入試）により本学大学院博士前期課程に進学する者の内、成績上位30名
Peace and Conflict Studies コース進学者の内、成績上位5名

授業料免除：

特別選抜（推薦入試）により本学大学院博士前期課程に進学する者の内、成績上位20名（半額免除）
Peace and Conflict Studies コース進学者の内、成績上位5名（全額免除）

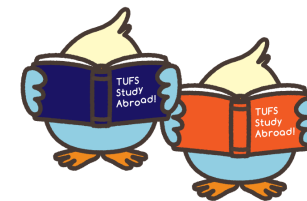
【博士後期課程】

授業料全額免除：

MIRAI奨学生に対して、今年度より授業料を全額免除

授業料半額免除：

本学の博士前期課程から博士後期課程に進学する者の内、成績上位10名



第二次募集枠での支援内容

入学後
希望者は申請が必要です

【博士前期課程】

授業料半額免除：

博士前期課程の4月入学者、10月入学者からそれぞれ若干名を授業料半額免除

【博士後期課程】

授業料半額免除：

博士後期課程の4月入学者、10月入学者からそれぞれ若干名を授業料半額免除



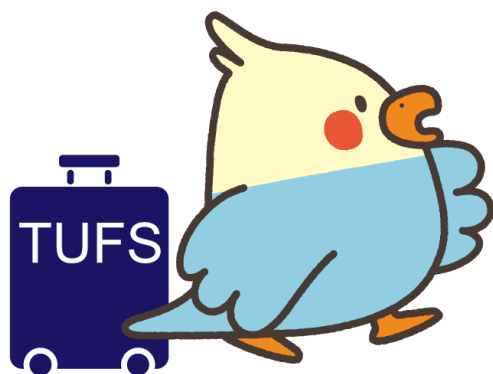
選考方法

【第一次募集】

学部及び博士前期課程の成績による選考（本人からの申請は不要）

【第二次募集】

書類選考（家計状況と入学試験の成績）及び面接による選考
（本人から申請が必要）



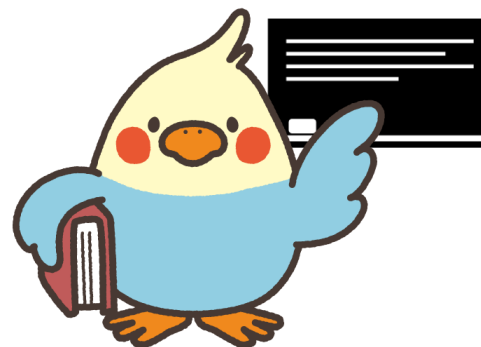
その他

- ・ TUFSS修学支援制度（大学院）第二次募集への申請は、以下のページに掲載予定の「授業料免除及び徴収猶予申請希望調査」アンケートへの回答からスタート

http://www.tufs.ac.jp/student/tuition_scholarship/exemption.html

※大学HPにて「授業料免除」と検索 アンケート回答期間は4/4～4/13

- ・ 学生課への問い合わせは以下のメールアドレスへ
gakusei-kakari@tufs.ac.jp



学生課からのお知らせ

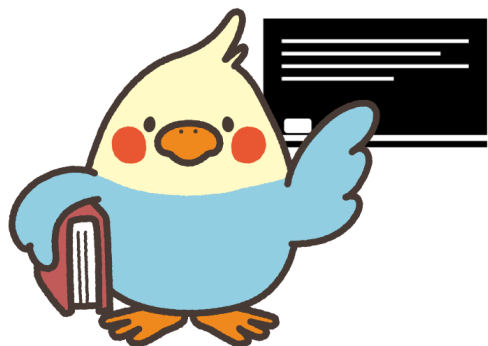
【経済支援】

本学が実施している学生の皆さまへの経済支援制度はこちら



【学生相談の窓口】

悩みを誰かに相談したい時はこちら



ありがとう



授業料免除申請希望調査
アンケートの掲載予定ページは
こちらから



経済支援制度利用早見表の
掲載ページは
こちらから

